



こんにちは とみさと議会です

平成 23 年

6月定例会

第 **171** 号

発行 / 富里市議会
編集 / とみさと議会報編集特別委員会
発行日 / 平成 23 年 8 月 1 日
住所 / 〒 286-0292 富里市七栄 652-1
TEL 0476-93-6492 FAX 0476-91-3595

新議員決まる

市議会議員選挙が 4 月 24 日に執行され、新たな 18 人の議員が選ばれました。

議員の抱負

○掲載順序は議席番号順です。(右段上から左に配列) ○名前の下の()書きは、会派又は所属政党名

政治不信の社会で議員の仕事とは何かを見直し、市民の方と直接情報の交換をして、安心して生活できる市民自治を目指します。



鈴木 英吉 (市民クラブ)

「政策は暮らしの中にある」との視点を持ち、市民の皆様の健康と暮らしを守るために一生懸命に取り組んでいます。



大川原 きみ子 (公明クラブ)

市民の皆様から負託を受けた議員として、恐れずひるまず信念を持って、富里市の自立と成長を目指し、邁進してまいります。



五十嵐 博文 (無会派)

市民の皆様とのかけ橋となり、様々な問題に取り組んでいきたいと考えています。また、このたびの震災の早期復興を願っています。



高橋 益枝 (市民クラブ)

少子高齢化社会へ対応し、自助・公助・共助の組み合わせにより、最低限必要なサービスが保障される安心の社会を目指します。



布川 好夫 (公明クラブ)

答えは常に現場にあり、が私の身上。議員としても「真実は常に現場へ市民の皆様の生の声」にあり」を肝に命じ全力で取り組みます。



井上 康 (無会派)

五期目を迎え、心機一転、損なわれてきた議会運営の民主化、開かれた議会、明朗な議会を目指して精一杯行動したいと思います。



栗原 恒治 (市民クラブ)

市民の声に耳を傾けて、住み良いまちづくりを目指し、まじめに働く人が報われる社会へ、全力で取り組んでいます。



江原 利勝 (公明クラブ)

職責に身の引き締まる思いです。ふるさと「とみさとが好き」だから、研さんを積み、住民の福祉の増進のため誠実に活動します。



高橋 祐子 (無会派)

市民目線の政治こそ、主権在民の原点です。安心安全なまちづくり、高齢者子供など、社会的弱者の声を、反映すべく努めます。



佐藤 繁夫 (市民クラブ)

自治体議会は与党も野党ありません。市民に開かれた議会へ、議会として「市民へ出前説明会」を実現できるように働きます。



窪田 優 (無会派)

初議会を終えて、日々勉強の毎日です。先輩諸兄の皆様のご指導等を承りながら、公約実現に向けて頑張っていきます。



岡野 耕平 (市民クラブ)

市民ニーズにどれだけ対応力があるか、まさに情報公開を積極的に行う市の実態と実情を知っていただく、このことを推進いたします。



櫻井 優好 (無会派)

議会は「言論の府」であり議員活動の基本は言論です。選挙公約を忘れることなく市民の切実な要求実現のため働いてまいります。



柏崎 のり子 (日本共産党)

富里の子供達に正常な社会を残してやるために、世代間のバランス、地域間のバランスを考えながら、活動していきたいと思います。



田口 勝一 (市民クラブ)

ごみがなく、緑が豊かで人と人がふれ合うまちづくりを進め、私たちの住む富里を至る所でPRして市の発展に努めていきます。



猪狩 一郎 (市民クラブ)

「住んでよかった！富里市づくり」に、市民と議会と行政が三位一体となり、頑張っているよう取り組んでいます。



原 清一 (市民クラブ)

「人の和・地域の輪を大切に」を合言葉に、自然と伝統を重視しながら、市民が主人公のまちづくりを目指して頑張ります。



戸村 喜一郎 (市民クラブ)

議会の構成が変わりました

ごあいさつ



議長 猪狩一郎



副議長 櫻井優好

このたびの富里市議会選挙後の5月19日の初議会において、議員の皆様方のご推挙を賜り、副議長に就任することとなりました。私にとつて身に余る光栄で、まさに身の引き締まる思いであります。

さて、議会としましても改革の一環として定数を二名削減しましたが、さらなる改革に取り組み、より開かれた議会を目指して市民の皆様にご理解をいただけますよう取り組んでまいります。そして市民の皆様と協働のまちづくりを進め、住み良いまちづくりに努めていく所存でありますので、今後とも何とぞご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

このたび5月19日の臨時議会で、議員の皆様方の推挙をいただき、議長に選出されました。責任の重大さに身が引き締まる思いであります。去る3月11日に発生しました東日本大震災で犠牲になられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。被災された方々の一日も早い復興を願うものであります。現在、大震災に端を発した福島原発は、世界中に影響度を増しています。さらに放射能の数字が私達の生活を左右するようになってきています。



(後列左から) 五十嵐博文 栗原恒治 岡野耕平 櫻井優好 戸村喜一郎
(前列左から) 江原利勝 布川好夫 田口勝一 鈴木英吉

総務建設常任委員会

委員長 布川好夫
副委員長 田口勝一

各委員会の構成

3月11日の東日本大震災後当地域においても少なからず被害が出て、経済、産業に影響しており、一日も早く国の災害対策のもと、復旧作業が推し進められ、住民の安心感が得られる生活環境を取り戻してほしいものです。さて、7、8月は各地域においてさまざまな夏祭りなどのイベントが計画されており、住民の皆様との交流が地域活性化の源となり、まちづくりの基礎となっていく事を期待しております。富里市の財政は相変わらず厳しいものの、大きな課題を抱える中、議会運営の重要さが指摘されており将来の構想としても市民の信託に応えなければなりません。今後とも議員を初め執行部、市民の皆様のご支援ご鞭撻を重ねてよろしくお願い申し上げます。



(左から) 江原利勝 鈴木英吉 戸村喜一郎 栗原恒治

議会運営委員会

委員長 鈴木英吉
副委員長 戸村喜一郎

印旛衛生施設管理組合議会議員選挙
布川好夫議員

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
猪狩一郎議員

4月の統一地方選挙後初の臨時会が5月19日に開催されました。議長・副議長の選挙、各常任委員、議会運営委員の選任を行い、正・副委員長が決まりました。また、市長から承認3件、同意1件が提出され、それぞれ原案どおり承認、同意しました。また、議員提出議案1件が提出され、原案どおり可決しました。

5月臨時会の議案と議決結果

市長提出議案

承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	平成22年度富里市一般会計補正予算（第7号） 生活保護法に基づく扶助費について800万円を追加するもの	全会承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて	平成23年度富里市一般会計補正予算（第1号） 東日本大震災による災害復旧に係る復旧工事等について緊急に対応するため1億6,080万6千円を追加するもの	全会承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて	平成23年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第1号） 東日本大震災による災害復旧に係る復旧工事等について緊急に対応するため1,360万9千円を追加するもの	全会承認
同意第1号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	山崎勝美君を選任するもの	全会同意

議員提出議案

発議案第1号	とみさと議会報編集特別委員会の設置について	議会報の編集発行を行うため、定数6人の特別委員会を設置するもの	全会可決
--------	-----------------------	---------------------------------	------

6月定例会は、5月31日から始まり、6月23日まで24日間の会期で開かれました。市長から、議案5件、同意1件、諮問2件が提出され、それぞれ原案どおり可決、同意、答申しました。また、委員会提出議案として2件が提出され、原案どおり可決しました。議員提出議案は2件が提出され、それぞれ原案どおり可決しました。一般質問は、12人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

6月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

同意第1号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	江原利勝氏を監査委員に選任するもの	多数同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員の増田功氏が平成23年9月30日をもって任期満了となるため、新たに飯塚徳政氏の推薦につき、議会の意見を求めるもの	適任である旨答申
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	人権擁護委員の曾根正雄氏が平成23年9月30日をもって任期満了となるため、新たに森田恵子氏の推薦につき、議会の意見を求めるもの	適任である旨答申
議案第1号	富里市基本構想審議会条例等の一部を改正する条例の制定について	市議会の検討結果をかんがみ、審議会等への市議会議員の就任要請を見合わせることにするため、関係条例を改正するもの	全会可決
議案第2号	富里市税条例の一部を改正する条例の制定について	東日本大震災の被災者等の負担の軽減を図るため、地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの	全会可決
議案第3号	平成23年度富里市一般会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ3億946万8千円を減額し、総額を149億3,933万8千円とするもの	多数可決
議案第4号	平成23年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出それぞれ473万1千円を追加し、総額を7億1,625万7千円とするもの	全会可決
議案第5号	財産の取得について	消防署に配備する救助工作車（Ⅱ型）を更新整備するもの	全会可決

委員会提出議案

第 1 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	国が義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める意見書を提出するもの	多数可決
第 2 号	国における平成 24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書について	国が必要な教育予算を確保することを強く要望する意見書を提出するもの	全会可決

議員提出議案

発議案第 1 号	空港対策特別委員会の設置について	成田空港に関連する諸問題に対処し、これらについての対策を確立し、市民生活の向上と市政の発展に資するため、定数 6 人の特別委員会を設置するもの	全会可決
発議案第 2 号	議会改革特別委員会の設置について	議会のあり方全般について改善・改革の具体的項目に関する調査研究をするため、定数 1 2 人の特別委員会を設置するもの	全会可決

請願・陳情

請 願第 1 号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採 択	請 願第 2 号	「国における平成 24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採 択
----------	---------------------------------	-----	----------	---	-----

6 月定例会の採決結果			結果	市民クラブ										公明クラブ			無会派					賛成	反対	
多＝賛成多数　×＝賛成少数　継＝閉会中の継続審査 ○＝賛成　×＝反対　退＝退席　欠＝欠席 【継】＝前定例会以前からの継続案件				岡野耕平	田口勝一	戸村喜一郎	原清一	鈴木英吉	高橋益枝	猪狩一郎	栗原恒治	佐藤繁夫	大川原きみ子	布川好夫	江原利勝	五十嵐博文	井上康	高橋祐子	窪田優	櫻井優好	柏崎のり子			
番号	件	名																						
市長提出議案																								
同 1	監査委員の選任につき同意を求めることについて	多	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	×	15	1
諮 1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
諮 2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 1	富里市基本構想審議会条例等の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 2	富里市税条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 3	平成 23 年度富里市一般会計補正予算（第 2 号）	多	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	16	1
議 4	平成 23 年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議 5	財産の取得について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
委員会提出議案																								
委議 1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	多	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	13	4
委議 2	国における平成 24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議員提出議案																								
発議 1	空港対策特別委員会の設置について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
発議 2	議会改革特別委員会の設置について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
請願・陳情																								
請 1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	多	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	13	4
請 2	「国における平成 24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
5 月臨時会の採決結果																								
市長提出議案																								
承 1	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
承 2	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
承 3	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
同 1	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
議員提出議案																								
発議 1	とみさと議会報編集特別委員会の設置について	全	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

通告項目 鈴木英吉 (3)(2)(1)少子高齢化対策について 公共交通の活性化について 行政経営のしくみについて	一般質問 ※本文は質問者自身の原稿によるものです。
議会改革特別委員会を設置 行政施策の最終意思決定機関である議会の機能・役割の重要性を踏まえつつ、議会のあり方全般について改善・改革の具体的項目に関する調査研究をすることを目的に設置し、議会が廃止の議決をするまで、閉会中も諸問題について継続して対処します。 委員長 佐藤繁夫 副委員長 田口勝一 委員 五十嵐博文、井上 康、戸村喜一郎 大川原きみ子、江原利勝、柏崎のり子 高橋益枝、栗原恒治、櫻井優好 猪狩一郎	空港対策特別委員会を設置 成田空港に関連する諸問題に対処し、市民生活の向上と市政の発展に資することを目的に設置し、議会が廃止の議決をするまで、閉会中も諸問題について継続して対処します。 委員長 原 清一 副委員長 鈴木英吉 委員 高橋祐子、岡野耕平 布川好夫、窪田 優
議員表彰 在職 10 年以上として表彰 猪狩 一 郎 議員 長年にわたり市政の振興に努められました功績により、全国市議会議長会から猪狩一郎議員が表彰され、6 月 23 日の本会議場において表彰状が伝達されました。	

大川原きみ子 (1)東日本大震災から学ぶことについて (2)子育てにやさしいまちづくりについて (3)公立学校の冷房化整備について (4)市道整備について	佐藤繁夫 (1)震災対策について	布川好夫 (1)市民活動支援補助金について (2)ひとり暮らし高齢者（世帯）について (3)耐震改修促進計画について (4)道路行政について	高橋益枝 (1)農業の活性化について (2)（仮称）空き家管理条例について (3)道路問題について (4)教育について (5)公共交通について	戸村喜一郎 (1)市長が政策として取り組んでこられた事業の成果について (2)東関道（仮称）酒々井インターチェンジの活用等について	岡野耕平 (1)災害復旧対策について (2)市長選について	高橋祐子 (1)震災・災害対策について (2)福祉政策について	五十嵐博文 (1)都市基盤について (2)産業経済について (3)入札制度について (4)公共交通体系について (5)教育について	井上 康 (1)協働のまちづくりに関して (2)富里市の防災体制について	窪田 優 (1)市議会議員選挙投票率について (2)災害時対策について (3)高齢者の安心について	柏崎のり子 (1)東日本大震災を踏まえた市の防災対策について (2)医療、教育について
---	--	--	---	---	---	---	---	--	---	---

鈴木英吉

問 行政経営の仕組みについて



答 頑張る職員が報われる職場環境を目指します

問 人事管理制度について、現在も縦割行政になっていますか。

答 単体の課では解決できない問題が多いので複数の課に配分され、これらに対応できる人材育成に努めているところです。

問 能力成果主義について、財源が厳しい折、職員の能力を評価して成果を上げる制度は取り入れていますか。

答 年功序列主義が見直され、能力を発揮してもらう事が大事なので、その処遇については配慮しています。

『公共交通の活性化について』

問 さとバスの運行の見直しは可能ですか。

答 今回の公共交通の見直しについては、さとバスだけにとらわれず、デマンドタクシーも含みバス路線との問題等あらゆる角度から検証し、一番市に合った交通体制を考えシステムづくりを進めます。

問 少子高齢化が進み、病院に利用できるデマンドタクシーの要望が多いのですが。

答 酒々井町や山武市に行き研修してまいりました。それぞれ特長がありますが、富里市でも必要であると認識しています。

問 設置可能時期はいつごろになりますか。

答 今年度アンケート調査をし来年度公共交通会議を行い、25年度には第一回の実証実験ができると思います。

『少子高齢化対策について』

問 不妊治療助成制度の行政の取組は。

答 不妊治療を受ける夫婦が多く費用が高額になるので県では助成として一回一五万円を一年度当たり二回まで助成し、また、相談は県の健康福祉センターで行っています。

大川原きみ子

問 日吉台、都市計画道路整備について



答 県の見直しのガイドラインに沿って検討します

問 日吉台、都市計画道路の整備について、現在市民が利用している現道は交通量も多く安全性から非常に危険であります。

長い間、市民は道路整備に向け声を出しているが改善、整備されずにいる。今後についての考えは。

答 都市計画道路に隣接している現道整備の見直しの視点としては、都市計画道路の見地や、地元との合意形成や、費用対効果、技術的な条件を検討し整備する道路を決めてまいります。

問 整備時期はいつごろとお考えですか。

答 新木戸土地地区画整理事業内の都市計画整備が終わり継続的に考え、現道か都市計画道か決める事業を行ってまいります。

『子育てにやさしいまちづくり』

問 ワーク・ライフバランスの実現に向け、仕事と子育ての両立について。

答 今後仕事と生活のはざまを保育サービスの充実等、多様な働き方に対応した子育て支援の推進や地域の協力による家族を支える社会的基盤の形成等行ってまいりたいと考えております。

問 ファミリーサポート制度の進捗は。

答 次世代育成計画の26年度実施に向けて社会福祉協議会と検討、協議しているところ です。



危険 日吉台道路整備を！

佐藤繁夫

問 震災対策の避難訓練と、支援物資について



答 支援物資は富中、日吉台小、市役所にあります

問 避難訓練の避難場所は、また訓練の実施時期は10月ではなく、9月に行うべきと思うが、訓練の計画はありますか。

答 避難場所は市内の小・中学校を指定しており「災害時における避難所運営の手引き」によれば、避難者一人当たり四平方メートルですので、約四、〇〇〇人の受け入れが可能です。

避難訓練の実施については検討中ですが、今年度は市民への防災意識の高揚を主眼とした講演会の開催も取り入れながら避難訓練を実施したいと考えています。

非難訓練の実施時期については、9月の防災の日前後に行うのか、10月に行うのかは、白紙の状態です。

問 支援物資の保管場所と品物、これの支援方法や、避難場所への搬送方法は。また各避難場所での備蓄が必要と思うが。

答 支援物資については、富里中学校に食料と飲料水、日吉台小学校には毛布やマットなどの資材を、市役所の倉庫には、飲料水、防災なべや発電機などの資機材を備蓄しております。

次に支援方法については、支援物資の受け入れを社会体育館で行い、ここを拠点に市内各地へ支援物資を搬送することにしております。

なお、避難場所への備蓄については、避難者が多く集まる場所から、できるだけ早く備蓄ができるよう検討いたします。

問 水やトイレの対策は。

答 水については、キャップ付きの給水袋を購入し、トイレについては、組立式簡易トイレを備蓄しております。

布川好夫

問 防災行政無線の情報フリーダイヤルで対応は



答 電話での対応は可能、実現に向け検討します

問 市民活動支援補助金について

答 この補助金制度は、平成23年3月に策定した「富里市協働のまちづくり推進計画」のひとつの事業として創設し、応募いただいた市民活動団体が八団体ありました。公開のプレゼンテーション方式で審査し推進委員会による審査結果の答申を受けて選考した結果、八団体を選考しました。

問 広く市民に広報していただきたい。

答 広報紙や市ホームページ等でお知らせいたします。

『ひとり暮らし高齢者（世帯）について』

問 富里市内のひとり暮らし高齢者（世帯）は増加傾向にあり、今後、地域から孤立化、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」の問題の深刻化が懸念され、行政と地域が一体となって取り組める社会形成の実現が必要となっています。健診・検査について、毎年被保険者数が増えているにもかかわらず、受診者数が減少しています。受診率アップの対策として、個別健診・検査、土曜日、日曜日の実施をしていただきたいと思っています。

答 土日の実施は、十分に協議する必要があります。



24時間フリーダイヤルで確認

高橋益枝

問 国が進める六次産業化について



答 関係機関と協議します

問 農林業者がみずから生産・加工・販売をするもので所得の向上を図り、雇用にもつながるのでは。

答 地元農産物を活用した新たな加工品への取組や地域資源の活用方法について関係機関等と協議します。

『農業体験ゲームについて』

問 携帯によるゲームで収穫した産物が届くことで、農業を全く知らない人が、土を耕すところから収穫するまでを知ることができ、新規就農にもつながるのでは。

答 子供から大人までゲームを通じて農業に興味を持ち、将来の就農に結びつけ新しいまちおこしになるといった試みをしている自治体もあると聞いています。

後継者対策とまちおこしという観点からユニークな試みですが、自然条件下の農業の難しさや季節感が損なうのではないかと思います。

『（仮称）空き家管理条例』について』

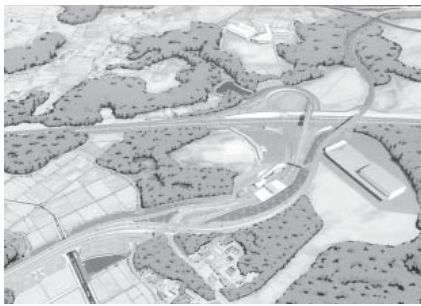
問 所沢市に視察に行き、施行されてから七三件の相談があり、四七件解決していると聞きました。また、ふじみ野市も施行されました。市としては。

答 防犯上の問題も含め安心安全なまちづくりを進める上で多くの先進事例を参考として調査、研究します。



農業に希望と夢を（七米地先）

います。



酒々井 I.C. のイメージ図
(酒々井町 H P より)

【問】四年前の市長選で選挙公報に掲げた政策についての成果は。
【答】今期は「①行財政の改革に取り組みます②生きた英語教育を応援します③市民の健康を大切に守ります④安全・安心の教育環境を整えます⑤富里をますます快適にします⑥合併問題はあらゆる面から慎重に考えます⑦活力ある臨空都市を目指します」という七つの政策を掲げ「協働のまちづくり条例」の制定、医療法人徳洲会の誘致などのほか、各施策の事業を実施してきました。
やり残した事業もあり、次期においても引き続き全力で取り組んでまいります。
【『仮称』酒々井 I.C. の活用について】
【問】酒々井 I.C. の工事進捗状況は。
【答】施工者である県によると平成22年度末現在、用地買収は九五%、事業費では七四%完了となっております。
今年度は I.C. 部分の橋梁工事、県道部の橋梁及び盛土工事、文化財調査を予定しています。
【問】市道〇一〇〇八号線事業の進捗は。
【答】用地買収は平成22年度末で面積見合い約八〇%となっており、今年度は、本體工事、ボックスカルバート工事、文化財調査等を予定しています。

【問】災害時における地元業者との連携は。
【答】富里市商工業促進協議会と災害応急対策に関する協定を締結しています。
【問】公共工事発注に際し地元優先の考えは。
【答】競争入札による契約を基本としています。地元業者優先については受注能力等を踏まえ公正な選定に努めます。
【『市長選について』】
【問】市長選にあたり、公約、マニフェストは。
【答】①公共交通の充実（市民の足の確保）②医療福祉の充実（保健センターを新設し、既存の保健センターを教育センターとして活用する）③継続事業の完成、新たな夢に向かって進む、であります。
成田市と共同での（仮称）成田市・富里市新清掃工場の完成、酒々井 I.C. につながる市道〇一〇〇八号線の新設、南七栄南西地区市有地土地利用の策定、学校給食センターの統合、子供医療費の中学生までの拡大、協働のまちづくりについては推進計画に基づき着実に進める、市民サポートセンターの設置は新たな計画をしている保健センターとの併設を検討、将来のまちづくりについて広く議論をしていきたいと考えております。
市民の求める、便利さと安心して長生きでき、医療と福祉、あわせて子育て支援にもつながる二本の柱と将来へのまちづくりの夢を公約にし、市民の審判を仰ぐつもりです。



赤ちゃんの健康を願って

【問】新検査法は従来のものより多くの先天性代謝異常を発見できますが、残りの二五%の方々の把握や案内はしていますか。
【答】把握も案内する予定はありません。
【問】国は県に公費負担を可とする指針を示しましたが県は見送りました。市として県に公費負担するよう申し入れて欲しい。
【答】現時点で申し入れは考えてません。
【問】市は人間ドックの助成を廃止し脳ドックの助成にしたことで四〇〇万円もの予算を削減しました。この予算を活用し子宮頸がんウイルス検査や骨盤内MRIなど女性特有の検診も助成できませんか。
【答】検討することが重要であると考えます。
【問】子宮頸がん予防ワクチンの成人女性への一部助成を考えてもらえませんか。
【答】検討してまいりたいと思います。
【問】学童クラブ増設を考えてもらえますか。
【答】学童クラブ増設を準備検討します。
【問】学童クラブ増設を準備検討します。
【『震災・災害対策について』】
【問】市は海外との姉妹都市を検討しているようですが、国内と災害時相互応援協定を早期に締結することも喫緊の課題ではありませんか。
【答】高橋議員の意見も踏まえ検討します。
【問】緊急輸送道路を結ぶ市道の路盤補強は。答今後十分検討してまいります。

【問】第一小学校く酒々井 I.C. 間の新設道路により、経済効果も生むべきでは。
【答】平成25年度の供用開始前までに、沿道での複合的な土地利用計画を進めます。
【問】都市計画の用途見直しをすべきでは。
【答】県同意から県協議へと移行となることから、今後見直しの検討をします。
【問】市街化調整区域に地区計画を導入し、上位計画の実現を進めるべきでは。
【答】都市マスタープランとの整合を図りつつ、地区計画制度の導入を検討します。
【『産業経済について』】
【問】農家の雇用確保及び新規就農者の支援策として、研修制度の策定により、人材確保を図るべきでは。
【答】関係機関と策定への協議を始めます。
【問】農産物の風評被害について、市が認定機関となり、モニタリング検査を実施し、積極的なPRをすべきでは。
【答】現状の中では厳しい。今後も国・県に検査体制の充実を求めます。
【問】各商店街の将来像については。
【答】今後、ビジョンを策定します。
【『公共交通体系について』】
【問】今年度実施の交通体系検証調査に、スクールバスとしての活用の検討も。
【答】スクールバス活用含め、検討します。
【『教育について』】
【問】浩養小学校の学童クラブ設置に向け、校内の有効スペースを活用しては。
【答】関係各課とともに、検討します。
【問】洗心小学校の今後のあり方を、耐震工事前に決めるべきでは。
【答】保護者関係者の意見を聞き検討します。

【問】「協働のまちづくり」は富里市の総合計画の中でも幹となる大事な施策です。あらゆる面で市と市民が相互に連携し主体的にまちづくりに寄与していくことが少子高齢化が進み財源確保が厳しいこれからの富里において大事です。過去に多くの自治体で同様の取組がありますが、一般的に初期の条例設定、推進計画策定までは順調ながら実際に運用が始まるといった前例を目にします。市の推進計画では五年間の実施事項が決まっていますが全体に実施時期が遅いと感じます。せっかく素晴らしい推進計画ができたのですからできることから速やかに実行に移していくべきでは。
【答】段階的に事業を進めていくことが重要であると考え二九の推進事業と五年間の年次計画を設定した。しかしその中で早めに行えるものがあれば実施していきます。
【『市の防災対策について』】
【問】今回の東日本大震災の教訓から、いつでもどこでも災害が起こりうることを学びました。そこで市の防災体制についてお聞かせください。
【答】平成21年から着手し、修正と見直しを反映させた市の地域防災計画が6月1日に知事から承認を得ました。今後は広報紙やホームページ等で多くの市民への周知に努めます。
また、災害時に応援が必要となる事業者や関連団体との協力締結等の促進に努めます。

窪田 優

問 防災無線が聞こえないという苦情を聞きますが



答 デジタル化で自動応答電話装置を予定します

問 自動応答電話装置のシステムとはどのような機能ですか。

答 電話すると放送された内容が音声ガイダンスで流れる装置です。

問 電話代はどうなりますか。家庭電話、携帯電話からもフリーダイヤルですか。

答 予算の関係もあるので今後検討します。

問 選択肢はありません。フリーダイヤルでなければいけません。防災無線で知らせる情報は行政としての義務です。その情報を得るのに有料は問題です。市長の見解を求めます。

答 約束は困難ですが検討します。

問 東日本大震災において、市内の体育館天井のボードが落下して卒業式等に影響を及ぼしました。対応策は取られますか。

答 天井材や外装材等の耐震強化に積極的に取り組んでいきます。

問 それはいつまでにできますか。

答 文部科学省から平成二七年度までに行うように通知が来ています。

問 市が想定している災害はどのようなものか。また、避難訓練は災害に応じた訓練と自分だけではなく高齢者、障害者に配慮した訓練も必要と思います。

答 地域防災計画は震災、風水害に加え今回大規模事故を想定しての危険物事故、航空機事故、道路事故などです。本年度は震災を中心にした訓練での対応。議員の言われる「自分たちだけが避難するだけでなく」ということも取り入れた形も検討していければと考えています。

柏崎のり子

問 市防災対策（消防・防災無線等）について



答 消防職員の確保・防災無線整備を検討します

問 地域防災計画の見直し検討は市民参加で進めるべきと考えます。

答 市町村が作成する計画は県の防災計画に抵触してはならないなど決まりがあり、直接市民が参加するには無理があります。

問 市民の生命財産を守る消防力について。

答 車両の基準台数は満たしているが消防職員の充足率は六三・八％です。県全体の平均は七一・一％となっています。

問 北分署では出動すると職員不在になる例がありました。国は職員を減らせというが防災も福祉も人が必要です。せめて県全体平均に近づける職員確保を。

答 基準に基づく職員確保を検討します。

問 防災無線は聞こえにくいとの声があります。計画目標に対して設置数の状況は。

答 七九に対し四九整備しています。

問 ここ数年整備の予算化がないが実施計画をしっかりと立てるべきです。

答 整備拡充に鋭意努力します。

問 水道施設の配水ポンプ、自家発電設備等の老朽化状況について。

答 第一次は昭和48年、52年、第二次は昭和57年、平成7年に整備しておりいづれも耐用年数が過ぎ更新が必要です。

問 市民に安全な水を供給する設備が老朽化のままで福祉の増進に寄与できません。企業会計は独立採算だからとはいえ、一般会計から繰り入れの増額をすることなど考えて対応すべきです。

答 これからの設備更新等に莫大な経費がかかる状況です。市の財政支援、国、県、また企業債等効果的に活用しながら取り組んでいきます。

意見書を提出

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
 （提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

◆国における平成24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書
 （提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

新メンバーでがんばります
 とみさと議会報編集特別委員から一言



委員長 大川原きみ子

議会報特別委員として議会の活動を正確でわかりやすい紙面作りを目指し、市民の皆様と一緒に読んでいただけるよう工夫、研究を努めてまいります。

副委員長 井上 康

議会報は市民の皆様、に、議会で何が話されていたか知っていただく大切な伝達手段です。できるだけわかりやすく、読んでいただきやすい議会報を目指し努力してまいります。

委員 五十嵐博文

議会と市民の信頼を深める上でも、議会報は重要な役割を担っており、ます。

常に、読手側のご期待にこたえるべき責任を持ち続け、価値ある議会報の作成に取り組んでまいります。

委員 田口勝一

議会を理解していただく大切な仕事だと思いますので、これまでの流れを大事にしながら、正確にわかりやすくという点に留意して取り組んでいきたいと思、います。

委員 戸村喜一郎

先輩委員の方々の「紙面づくり」の伝統を引き継ぎながら、さらに市民の皆さまに親しまれ、読みやすい議会報になるよう、皆さまとともに精一杯頑張っ、てまいります。

委員 高橋益枝

前号から紙面が変わりました。より多くの情報をお伝えできるよう、新メンバーの皆様とともに頑張っ、てまいります。

議会を傍聴しませんか

9月定例会は8月31日（水）から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
 ※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビでもご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局
 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス
<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

東日本大震災で被災された方、お亡くなりになられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。日本はこの震災で多くのことを学び、地域で支え合うきずなの大切さを改めて実感することとなりました。「災害に強いまちづくり」に向け、なお一層きめ細かな取組が求められています。

安全と言われていた日本の原発も福島原発事故から放射能問題に国民一人一人が真剣に向き合う事を余儀なくされる事態であり、市民の安全と安心を守る自治体の役割は重要です。その中において議会の活動をより正確で、わかりやすい紙面づくりを目指し、一人でも多くの皆様に読んでいただけるよう、新しくなった議会報編集委員一同、創意工夫をし、編集をしてまいります。

（委員長 大川原きみ子 記）